

○御家族の意見

・情報保障に関すること

失語症で読み書き、会話や言葉の理解が不自由な人が一人だけでも生きていく為にどういった支援があるか教えてほしい。(誰もいない時の電話 119 番等の理容方法も知りたい)。働ける仕事内容を増やし、在宅勤務でも可能になるとうれしい、働きたくても働ける内容が中々ない…。

一般的な話ですが、老眼のため書類の字が小さくて読みにくいと感じています。

親亡きあとの不安がある。理解力は多少あるがこのアンケートの記入はふりがながうってあっても言いまわしが難しすぎる。(例)配慮等。今後、手続きやアンケート調査など知的障害の方の支援が必要に思う。年金など手続きがわからずとぎれてしまわないように。

ことばが話せないのだからこれから心配です親も年をとり心配です。いつまで見てやれるか。

もっともっと手話の普及があると、とても助かります。どこのお店にも行きやすく、コミュニケーションがとれる方法を充実させて欲しい。

言語障害があるので、本人の考えている事云おうとしている事が中々人に伝わりにくい。

難聴で市からのお知らせの放送が流れてきますが、家にいると外からの放送が聞こえないので聞けるように家にスピーカーが何かをとりつけてほしいです。あと字まくもながれてほしいです。

災害、防犯など、年寄りにも聞いて欲しい放送の声の大きさや声のスピードを、年寄りにも聞き取りやすい大きさやスピードにしてほしいです。

療育手帳の再判定の通知がないのが謎です。ほかにも各種手続きや更新等が多くて混乱してしまうので分かりやすく簡潔に案内してほしい。県庁前の横断歩道が特にデコボコで車イスが引きづらく、盲目の方もころんではしまうのでは?と思うほど酷い。駅前の地下道にエレベーターが欲しい。ハートフル駐車証をつけているのににらまれたり文句を言われることが多々あるので、身体障がい者にしか配布されない分かりやすく目立つ証が欲しい。(いつも気分が悪いです。老人に言われたりします。見た目で分かりにくかったりただの幼児に見えるのでしょうが。)

県内のイベントを行なう際に車椅子で参加出来る方法を講じた上で開催してもらいたい。行ってみたら車椅子では無理だと帰ったこともあります。芝の上では車椅子で移動するには全く不可能に近いです。介助者がいて押してくださる方には問題はない事かも知れませんが1人で移動するには困難な人もいます。芝の上では点字ブロックがなく視覚障害の方には介助者が必要です。全ての方に対応してイベント開催は限界もあるかと思いますが対応していただくと助かります。